

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和7年10月8日（水）、次のとおり定例会議を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 函館方面における若手警察職員を対象とした実務研修会の開催結果

高橋警務課長から、函館方面における若手警察職員を対象とした実務研修会の開催結果について報告を受けた。

中田委員から「若手職員のモチベーションアップ、コミュニケーション能力向上、離職防止にもつながる素晴らしい取組である。職員は、世代や立場ごとに様々な悩みを抱えているので、それぞれの属性に合わせた研修会の開催は大変有効だと思う。」旨の発言があった。

岡崎委員から「本研修会は、地方で勤務する若手職員にとって、大切な出会いの場にもなっている。浮ついた話ではなく、仲間やパートナーの存在が生活基盤を安定させ、より良い仕事につながっていくと思うので、今後もこうした取組を継続願いたい。」旨の発言があった。

斎藤委員長から「非常に良い取組だと思う。今後も続けていただきたい。」旨の発言があった。

(2) 第2回ハラスメント防止週間の実施

能戸監察官室長から、第2回ハラスメント防止週間の実施について報告を受けた。

中田委員から「権力を有する警察だからこそ、ハラスメント教育をしっかりと行うことが大切である。ハラスメント教育は、丁寧な市民応接につながり、ひいては警察官自身のスキルアップにもつながると思うので、是非とも進めていただきたい。」旨の発言があった。

斎藤委員長から「行為者は、自分の言動がハラスメントだと認識できていないと言われている。重要な取組なので、職員への周知を図っていただきたい。」旨の発言があった。

(3) 生活安全関係主要事件発生・検挙状況①

徳田生活安全課長から、生活安全関係主要事件発生・検挙状況①について報告を受けた。

中田委員から「発生当初、連日報道されており、社会的反響の大きい事件だと思う。頑張っていただきたい。」旨の発言があった。

斎藤委員長から「大変めずらしい事件だと思う。全容解明に努めていただきたい。」旨の発言があった。

(4) 生活安全関係主要事件発生・検挙状況②

徳田生活安全課長から、生活安全関係主要事件発生・検挙状況②について報告を受けた。

(5) 生活安全関係主要事件発生・検挙状況③

徳田生活安全課長から、生活安全関係主要事件発生・検挙状況③について報告を受けた。

中田委員から「児童被害にかかる許しがたい事件であり、適正な処罰が下されるよう捜査を尽くしていただきたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「児童が犯罪に巻き込まれるなど、あってはならないことである。今後も、こうした犯罪には真摯に取り組んでいただきたい。」旨の発言があった。

(6) 情報漏えい防止のための脱落防止ストラップ等の配布の実施

鎌田地域課長から、情報漏えい防止のための脱落防止ストラップ等の配布の実施について報告を受けた。

岡崎委員から「全道に紹介できるような素晴らしい取組だと思う。」旨の発言があった。

(7) 警察官職務執行法に基づくヒグマの駆除命令の実施

鎌田地域課長から、警察官職務執行法に基づくヒグマの駆除命令の実施について報告を受けた。

中田委員から「現場には大変な苦労があつと思う。今後も、必要性、安全性に配意し、法に基づく適切な対応をお願いしたい。また、住民への注意喚起も続けていただきたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「住民には、大変な状況にあるということをわかりやすく伝えていく必要があると思う。危機意識を持ってもらえるような啓発を続けていただきたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「鳥獣管理保護法の改正以降、全国的に見ても人の生活圏における緊急銃猟の事例は殆どなく、今後も、警職法を根拠とした駆除もあり得ると思う。住民に危害が及ぶことがないように、適切な判断をお願いしたい。」旨の発言があった。

(8) 刑事関係主要事件発生・検挙状況①

田村捜査課次席から、刑事関係主要事件発生・検挙状況①について報告を受けた。

中田委員から「背後関係の解明に向け、継続捜査願いたい。」旨の発言があった。

(9) 刑事関係主要事件発生・検挙状況②

田村捜査課次席から、刑事関係主要事件発生・検挙状況②について報告を受けた。

岡崎委員から「どんなに素晴らしい人物でも、お金の誘惑に負けてしまうことはある。事業所ごとに、複数管理など、不正が起こらないシステムを構築することも大切だと思う。」旨の発言があった。

(10) 令和7年秋の全国交通安全運動の実施結果

河奥交通課長から、令和7年秋の全国交通安全運動の実施結果について報告を受けた。

(11) 交通事故の発生状況

河奥交通課長から、交通事故の発生状況について報告を受けた。

中田委員から「あらゆる機会を通じて、高齢の自転車利用者に対する注意喚起をお願いしたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「人身事故の中には、歩行者側に過失が認められるケースも多いと思う。歩行者に対する啓発も継続願いたい。」旨の発言があった。

(12) 外免切替制度の改正

河奥交通課長から、外免切替制度の改正について報告を受けた。

中田委員から「審査が厳格化されることは大変喜ばしいことであるが、合格できるよう日本の交通ルールをしっかりと勉強してもらえる教育システムを構築することも大切だと思う。」旨の発言があった。

岡崎委員から「外国人の来函は今後益々増えると思うし、外国人が来なければ成り立たない業界も増えていくと思うので、法に基づく厳格な審査と各種教育の推進をお願いしたい。」旨の発言があった。

(13) 函館方面災害警備本部等移転訓練の実施

宮本警備課長から、函館方面災害警備本部等移転訓練の実施について報告を受けた。

中田委員から「直近のカムチャッカ半島地震では、医療業界でも様々な課題が浮き彫りとなった。非常時における本部機能の維持は大変重要な課題であり、データのバックアップ、通信機器の整備等、必要な対策を進めていただきたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「公的機関も簡単に庁舎を転居できる状況ではなく、大規模災害発生の際は、本部機能を移転させることによって乗り切るしかないと思う。そのためには、こうした訓練が非常に重要だと思う。」旨の発言があった。

2 決裁・報告内容

(1) 猟銃所持許可の取消処分について報告を受け、決裁を行った。

(2) ストーカー規制法に基づく禁止命令等の実施結果（9月中）について報告を受け、決裁を行った。